

年間授業計画様式

東京都立町田工業高等学校 令和4年度 教科工業 科目選択情報ビジネス 年間授業計画

教科：工業 科目：選択 情報ビジネス 単位数：2単位

対象学年組：第2学年選択科目)

教科担当者：提箸

使用教科書：()

使用教材：(パプロフくと学ぶITパスポート)

	指導内容	科目情報ビジネスの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	ガイダンス			2

	指導内容	科目情報ビジネスの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	ネットワーク、データベース、セキュリティ	データベースの基本的な考え方、ネットワークの仕組みを理解させる。ネットワークの管理方法について理解させる。	<p>【知識・技能】 I Tパスポートのテクノロジー部分の知識を十分に取得し、近年のI T技術を理解できた。</p> <p>【思考・判断・表現】 I Tパスポートテクノロジーにおいて効率よく学習するための対策を自ら考え実行している。</p>	4
	暗号化技術・コンピュータの装置	データの暗号化について理解させる。コンピュータの構成とその特徴を理解させる。		4
	補助記憶装置と記憶装置の組み合わせ	補助記憶装置の種類と特徴を理解させる。 また、キャッシュや仮想記憶、RAIDについて理解させる。		2

	指導内容	科目情報ビジネスの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	ハードウェアインターフェース	BluetoothやHDMI、IoTデバイスなど種類と特徴を理解させる。	【学びに向かい合う力・人間性】	4
	ディスプレイと解像度 ディレクトリ	dpiやpixelについて理解させる。 ルートディレクトリと絶対パスについて理解させる。	資格取得に向けての取り組み、積み重ねて学びを深めていく継続性が身についているか。	2
	OSとアプリケーション	OSの機能を学ばせ、オープンソースソフトウェアについて理解させる。	以上の点について学習態度や課題提出等で総合的に判断する。	6

指導内容	科目情報ビジネスの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月 定期テスト 2進、10進、16進 プログラミング言語	1学期の学習範囲 それぞれの変換が出来るように理解させる。 代表的な4つの言語、C言語・COBOL、JAVA、SQLについて理解させる。		1 2 2

	指導内容	科目情報ビジネスの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目情報ビジネスの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	システム開発	開発とパッケージについて理解させる		2
	システム開発	開発ベンダへの発注について理解させる		2
	システム開発	SLCP (Software Life Cycle Process)について 理解させる		2
	システム開発	E-R図、DFDについて理解させる		2

	指導内容	科目情報ビジネスの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	プロジェクトマネジメント	品質管理、サービスサポートについて理解させる。	<p>【知識・技能】 I Tパスポートのマネジメント部分の知識を十分に取得し、近年のI T技術を理解できた。</p> <p>【思考・判断・表現】 I Tパスポートマネジメントにおいて効率よく学習するための対策を自ら考え実行している。</p>	2
	システム運用	サービスマネジメント・障害対応・構成管理について理解させる。		2

	指導内容	科目情報ビジネスの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	システム運用	ITサービスマネジメント・ファシリティマネジメントについて理解させる。		4
	ミーティングと実行	ブレインストーミング・PDCAサイクルについて理解させる	<p>【学びに向かい合う力・人間性】 資格取得に向けての取り組み、積み重ねて学びを深めていく継続性が身についているか。</p> <p>以上の点について学習態度や課題提出等で総合的に判断する。</p>	4

指導内容	科目情報ビジネスの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月 定期テスト システム監査	2学期の学習範囲 監査の目的・種類・流れについて理解させる		1 2

	指導内容	科目情報ビジネスの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	企業の組織	企業の全体像・組織の形態・情報システムの責任者について理解させる。		4
	企業の戦略	経営理念・コーポレートガバナンス・CSR・ディスクロージャーについて理解させる。		4

	指導内容	科目情報ビジネスの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	会計	財務諸表・利益と損益分岐点について理解させる。	<p>【知識・技能】 I Tパスポートのストラテジ部分の知識を十分に取得し、近年のI T技術を理解できた。</p>	4
	法律		<p>【思考・判断・表現】 I Tパスポートストラテジにおいて効率よく学習するための対策を自ら考え実行している。</p> <p>【学びに向かい合う力・人間性】 資格取得に向けての取り組み、積み重ねて学びを深めていく継続性が身についているか。</p> <p>以上の点について学習態度や課題提出等で総合的に判断する。</p>	4

	指導内容	科目情報ビジネスの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	定期テスト	3学期の学習範囲		1
	経営とシステム	電子商取引・IoT・ERPパッケージについて理解させる。		2